

5 主な協働事業

○ 安全・安心の備中

<事業名>地域に飛び出せ看護学生アシスト事業<地域活力創出事業>

<概要>

○地域における保健医療従事者の育成支援

県内の看護系大学等の学生が、離島や中山間地域の医療過疎地域に赴き、地域住民とふれあいながら健康教育等の、地域医療の体験を通じて、地域医療への理解を深める。

また、学生が地域住民と交流することにより、中山間地域の活性化を図る。

<実施計画>

23年度の事業について

- ・参加した学生からは、医療過疎地域に暮らしている住民の健康課題や地域医療に対する関心が高まった。
- ・地域活性化の面でも学生と住民との交流が図られ一定の成果がみられた。
- ・大学等が人材育成の観点から、カリキュラムの一つとして位置づけられるよう、ある程度継続して実施することが必要である。

こうしたことを踏まえ24年度は、

- ①地域住民との交流事業については、地域（NPO、町内会等）へ委託
- ②地域医療への理解を深める事業については、大学等と連携して笠岡諸島（北木島、白石島）での取組を継続するとともに、新たに山間部（井原市、高梁市）での取組も実施することとする。

具体的内容としては、

- ・地域医療の体験と地域医療関係者との交流
- ・地域の伝統行事への参加等地域住民との交流
- ・地域住民への健康教育、健康相談 等

を実施していく。

地域に飛び出せ看護学生アシスト事業

課題

離島・中山間地域では、人口減少がすすみ、地域活力の維持が必要
医師、看護師等が不足しており、地域生活の中で医療に関する不安がある



看護系大学等（地域の保健・看護職の育成）

学生が地域で体験学習
・地域医療や介護の体験
・健康教育の実施、伝統行事参加

フィールドの提供
学生との交流
大学祭で地域特産品の販売

離島・中山間地域を有する市町

NPO・町内会・地元医療機関・訪問看護・訪問介護等

期待できる効果



- 離島や中山間地域の医療に理解、興味を持つ学生の増加（医療従事者の確保）
- 住民相互のきずな、連帯感の高まりによる地域活力の創出

岡山県立大学は北木島へ

地区体験学習（2泊3日）学生16名参加
デイサービス体験・済生丸健診見学・
住民へのインタビュー・健康教育実施・住民との交流会



デイサービスでの体験

山陽学園大学は白石島へ

地区体験学習（2泊3日）学生19名参加
デイサービス体験・島の医師との座談会
住民へのインタビュー・健康教育実施・住民との交流会



住民への健康教育

地域での体験学習



踊り体験ツアー参加

地域住民との交流



島の大運動会へ参加

<事業名>防災力・防犯力強化事業<地域活力創出事業>

<概要>

近年の少子高齢化からくる中山間地域の集落機能の低下や、住民のコミュニティへの帰属意識の希薄化は、地域の防災力・防犯力を弱体化させる要因の1つとなっている。

東日本大震災の発生を契機に、これまで以上に地域の防災力強化が求められており、また、犯罪の起こりにくい社会の実現を旨とした取組は粘り強く継続していく必要があるといった観点から、地域社会の連帯感を強化し、防災力・防犯力の強化につなげていく取組を実施する。

<実施計画>

1 「おかやま元気！集落」防災モデル事業

集落機能の維持・強化に積極的に取り組んでいる「おかやま元気！集落」において、沿岸部や山間部等の条件の異なる地域を4箇所程度選定し、各地域が抱える課題等を踏まえ、「災害時要援護者の個別計画モデル」、「避難計画モデル」及び「災害時応急計画モデル」などを地域住民及び市町職員と共に策定する。

また、モデル策定後に当該集落において避難訓練を実施する。

2 地域社会の連帯感・きずなづくり支援モデル事業

地域社会で行われる高齢者宅への訪問や各種スポーツ大会等住民が多数参加する地域社会の連帯感・きずなづくりにつながる取組を促進する。

○子育て支援の推進

＜事業名＞ 備中子育て晴れの国づくり

＜事業概要＞

子育て支援に関係する「産」「学」「民」「官」分野の様々な人々が出会い、学びあうことによる、「知りあい、支えあい、高めあう」つながりづくりを進め、次代を担う子どもたちが心豊かで健やかに生まれ育つ「備中子育て晴れの国」を目指して、総合的な子育て支援に取り組む。

＜実施計画＞

1 おかやま子育てカレッジ実現事業

- ・各カレッジの取組への積極的な参画と活動に対する財政支援
(新見公立短期大学、岡山県立大学、吉備国際大学、倉敷市立短期大学)
- ・県内のカレッジ間のつながりづくりや県内外への情報発信に対し、県庁、他県民局とも連携しながら支援を進める。
- ・カレッジ未指定の大学にも、趣旨や既存カレッジの活動状況等を情報提供し、子育てカレッジの実現を引き続き呼びかけ、必要に応じ「模擬的子育てカレッジ(大学子育てオープン化事業)」の実施を促すほか、実現に係る施設・設備費に対し財政支援を行う。

2 備中子育て晴れの国交流会・協働子育て支援研究会

(1) 備中子育て晴れの国交流会

現地見学やグループワーク、他地域の先進的取組についての講演等を通じて、相互に交流を深めるとともに、地域でつながり支える子育て支援について理解を深める。

(2) 協働子育て支援研究会

管内の学識経験者と実践者が集い、研究報告、意見交換等を行うことにより、大学等の研究・地域での実践活動・行政施策の連携強化を図り、より質の高い子育て支援の取組を促進する。

3 親支援プログラム普及推進事業

子育て支援活動への支援の一環として、全国で広く実施され、実績のある親支援プログラムを地域の子育て支援拠点等で実施し、普及を促進する。

- ①ノーバディーズ・パーフェクト親支援プログラム
(「完璧な親なんていない～カナダ発の親支援プログラム～」)
- ②お父さん応援プログラム
(父親の子育て支援プログラム)
- ③ペアレントトレーニングプログラム
(軽度発達障害を持つ子どもの子育て支援)

備中子育て晴れの国づくり（24年度）

～子育てをテーマに人や情報が行きかい、高めあう備中～

備中子育て晴れの国

管内全体

●備中子育て晴れの国交流会・協働子育て支援研究会

子育てをテーマに備中全域を産・学・民・官の様々な人や情報が行きかい高めあう関係づくり

さらに、子育て支援に関する研究者と実践者による研究会を開催することにより、大学研究・地域活動・行政施策の連携強化

参加

参加

地域毎

●おかやま子育てカレッジ 実現事業

大学を核とした協働子育て支援拠点の推進

県職員が地域へ出向き、市町や地域の
人々と一緒に考え、支援する

●親支援プログラム普及 推進事業

地域子育て支援拠点の活動支援
子育て中の親の学びや交流を推進

参加

地域で子育て支援に関わる様々な方々
産・学・民・官

(NPO・ボランティア・子育て中の親・大学・企業・行政・教育等)

○ 個性と魅力ある地域づくり

<事業名> 備中発！地場産業の魅力発信事業<地域活力創出事業>

<概要>

1 備中地域ならではの特産品等の売れ筋商品化

商工団体、農業団体等と連携し、備中地域ならではの地域資源を活用して開発した特産品等の課題に対する専門のアドバイザーによる商品のブラッシュアップセミナーの開催、見本市への出展など販路開拓等の支援による売れ筋商品化を図る。

2 企業展の開催(学生等と管内企業のマッチング、異業種交流の促進)

地域づくり団体、商工団体等と連携・協働し、備中局管内の様々な業態の企業等を一堂に紹介する企業展を開催する。その際、管内大学と連携し学生等をスタッフとして参加させることで、県内企業の魅力を知らない学生等と自社の魅力を伝えきれず学生等の採用に至らない企業とのマッチングの場とし、地元企業への就職を促進する。加えて、参加企業等による交流の場を設け、異業種間のネットワークを構築することで新たな商品開発のきっかけづくりとする。

<実施計画>

1 備中地域ならではの特産品等の売れ筋商品化

経営や支援策等についての知識が不十分な企業が少なくなく、専門家のアドバイス等から得られる効果が大きいといった23年度の実績を踏まえ、24年度の改善策として、

- ①商工団体、農業団体等と連携して、きめ細かく募集を行う。
- ②地域事務所単位でブラッシュアップセミナーを開催し、広範に事業者の底上げを行う。

2 企業展の開催及び異業種交流の促進

23年度は、

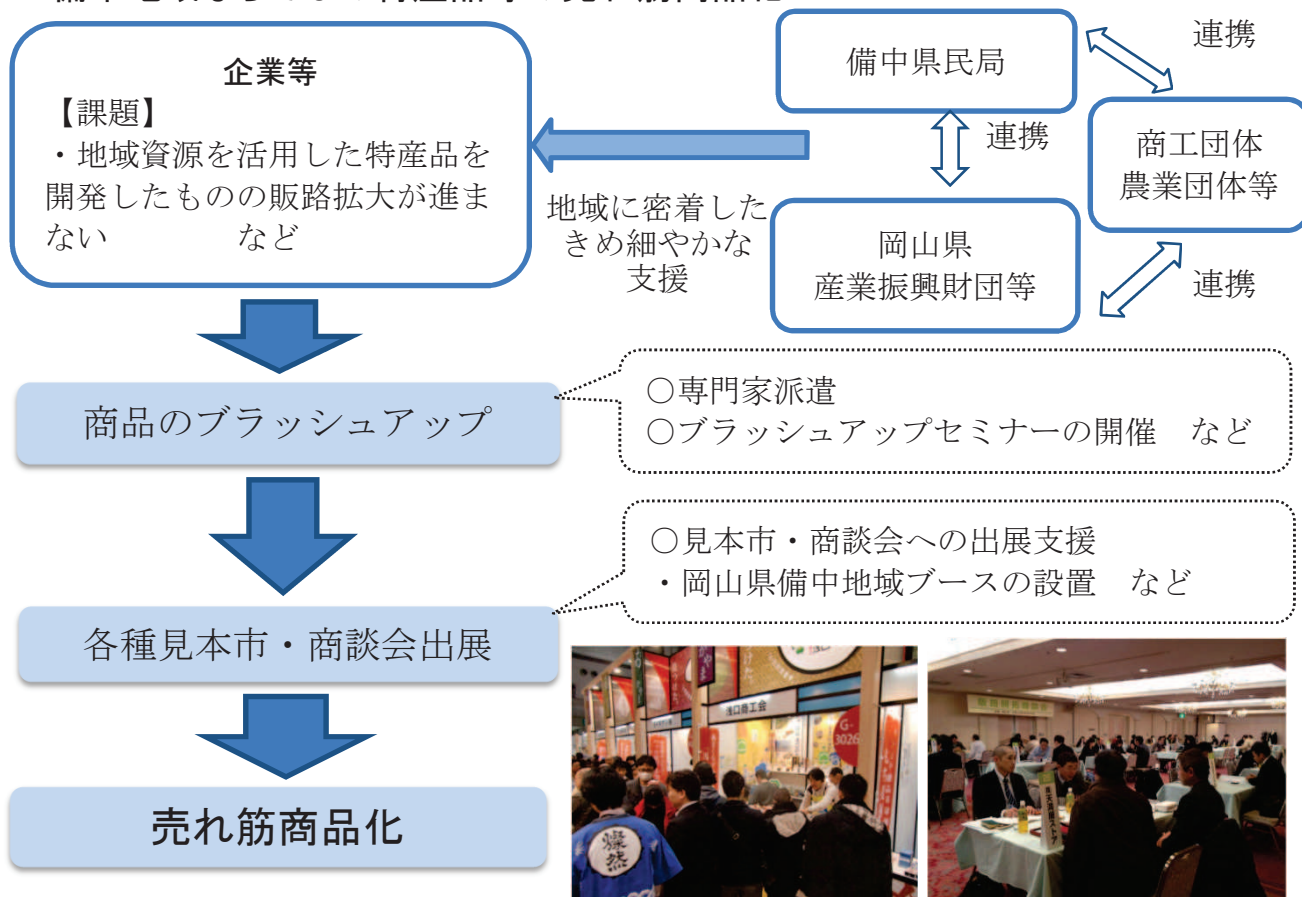
- ・参加企業に地域的な偏りが生じ、数も不十分であった。
- ・学生との調整時期が夏休み直前になったため、学生の参加が不十分であった。

といった状況であり、その課題を踏まえ、

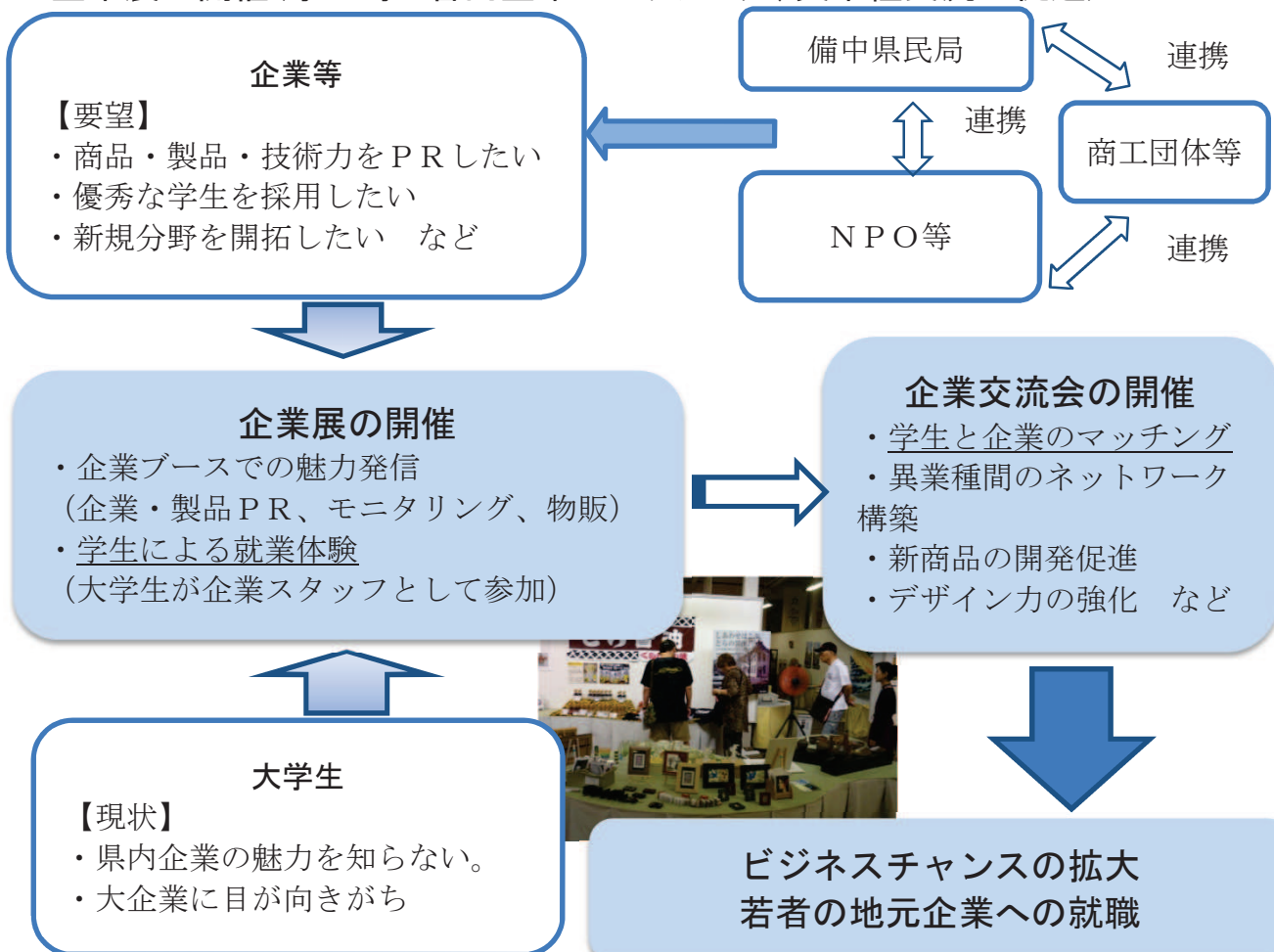
- ①企業展の集客力を高めるため、製品・商品の物販ブースを増やすとともにご当地グルメ等の販売も行う。
- ②企業と大学生の募集時期を早めて参加者数を増やし、交流の機会を充実させる。
- ③大学生、参加企業、デザイナー等による交流会を充実させることで、ネットワーク力を強化し、新商品の開発促進に結びつける。

備中発！地域産業の魅力発信事業の進め方

1. 備中地域ならではの特産品等の売れ筋商品化



2. 企業展の開催(学生等と管内企業のマッチング、異業種交流の促進)



<事業名>「元気！備中」交流定住推進事業<地域活力創出事業>

<概要>

1 あなたも「応援団」に！！ 「おかやま元気！集落」探検ツアー事業

県民や企業を対象に、管内の「おかやま元気！集落」に関心を持ってもらうよう、活動内容の情報発信を行うとともに、交流事業等を実施している地域に実際に出向いてもらい、中山間地域との交流に対する動機づけを行うことにより、「応援団」の登録拡大をより一層推進する。

なお、近年韓国では、1つの企業が1つの農村地域を支援する取組が進められているが、これは一過性ではない継続的な交流への進展が期待できるため、企業と「おかやま元気！集落」との応援協定締結などによる発展的な支援体制の構築も視野に入れた事業展開を図る。

2 備中地域ソーシャルビジネス育成支援事業

中山間地域において起業指向のある人からのビジネスプランを全国募集し、審査により、優秀なプランには賞金を授与する。

実施に当たっては、定住促進対策に熱意のある市町との密接な連携を図り、受賞者については受入市町で少なくとも1年間は居住してもらい、企業活動を行う。

<実施計画>

1 あなたも「応援団」に！！ 「おかやま元気！集落」探検ツアー事業

①「おかやま元気！集落」の活動や地元特産品等の情報を発信する「備中地域おかやま元気！集落交流会」を倉敷みらい公園等において開催するとともに、備中地域の市町にゆかりのある企業等を訪問し交流を勧めることにより、「おかやま元気！集落」への関心を高めてもらう。

②バスの借り上げを行い、実際に「おかやま元気！集落」を数カ所訪問し、地域の人々との交流を深めてもらう。

2 備中地域ソーシャルビジネス育成支援事業

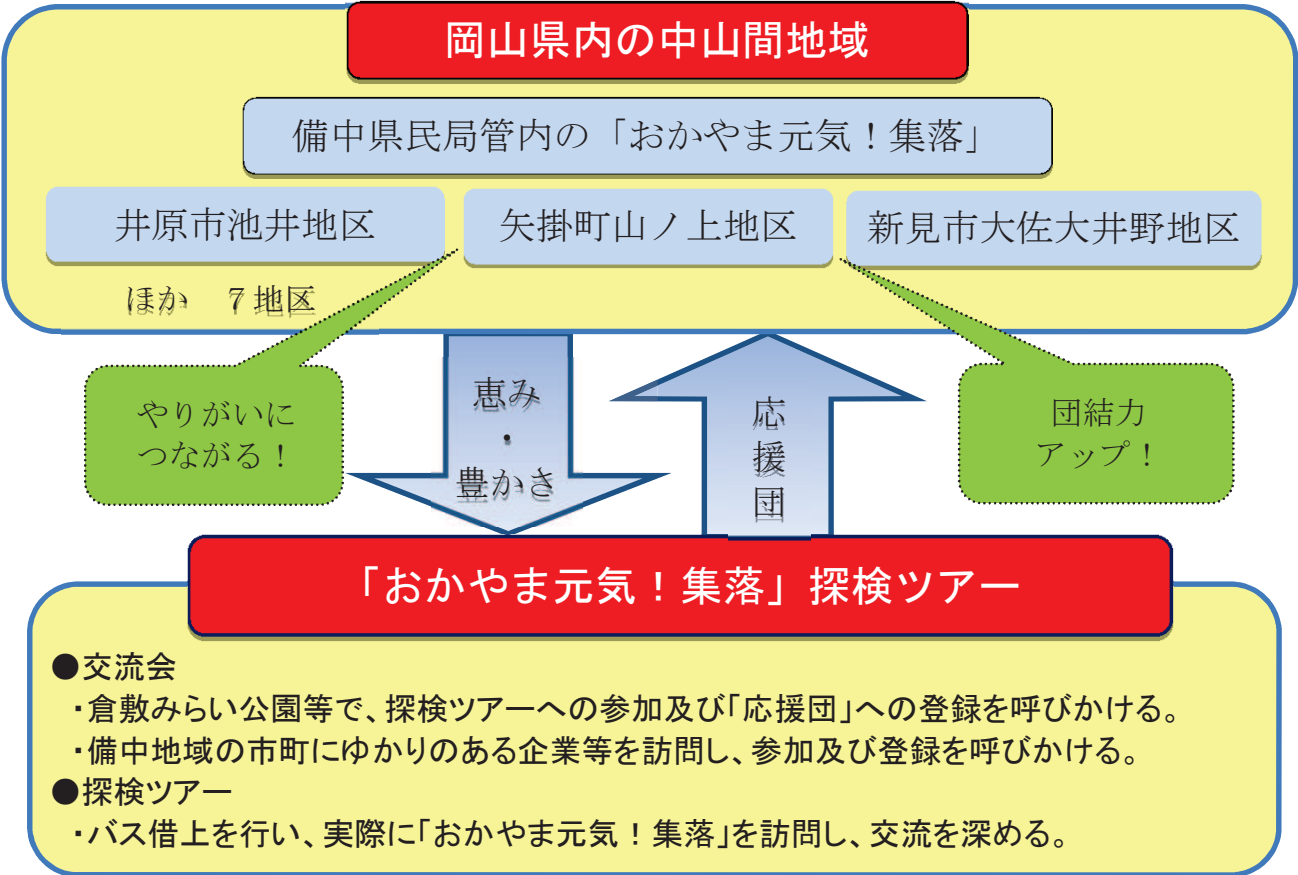
①定住促進に熱意のある市町と連携し、定住者に対する支援策、住居及び企業の活動場所等市町の資源についての情報を取りまとめる。

②県外在住の個人又は団体で、中山間地域を拠点にソーシャルビジネスに挑戦する意欲のある者を対象に、コンテストを行い、「新規創業賞」（賞金50万円。市町村負担1/2。）を2～3名程度審査により決定する。コンテストに際しては、市町で活用できる資源や課題等についての情報をあらかじめ提供する。

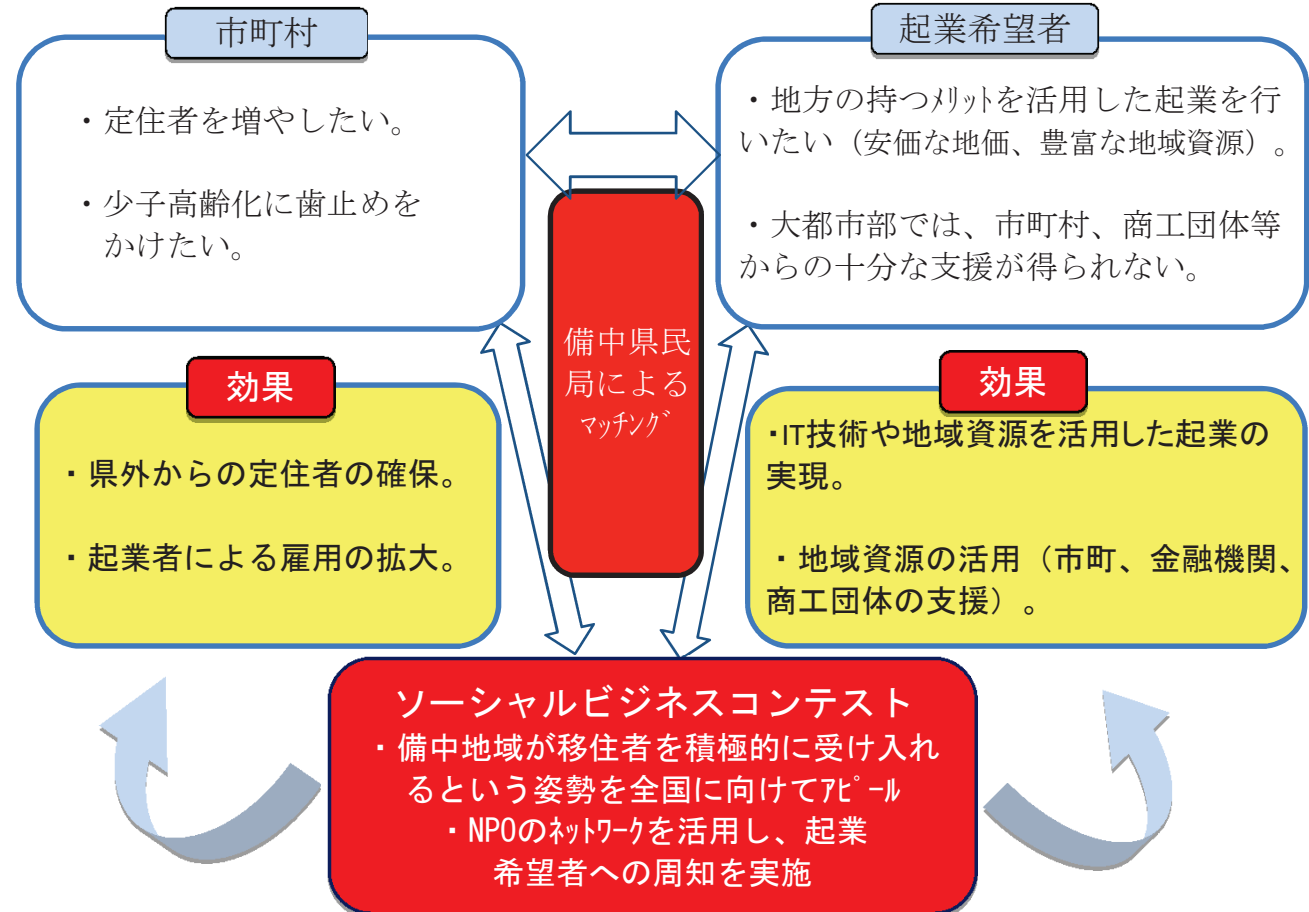
③受賞者は、市町の定住促進策等を活用し起業を行う。市町は、受賞者が定住するにあたって様々な支援を行う。

「元気！備中」交流定住推進事業

1 交流推進事業



2 定住推進事業



○ 食糧自給率向上対策

<事業名> 新段階へ！地産地消推進事業<地域活力創出事業>

<概要>

これまで備中地域食料自給率向上推進会議を中心として、農林水産物の生産振興、米や米粉の消費拡大、「おかやま有機無農薬農産物（以下「おかやま有機」）」の生産・販路拡大、レストラン等での地場産食材を使った料理の提供、耕作放棄地の再生とその利用、中山間地域資源の発掘・活用による地域活性化等により、地産地消を推進してきた。

こうした中から、米粉独自の魅力や、「おかやま有機」に注目するシェフやパティシエ、料理研究家等と備中地域とが結びつきを深めてきた。

これを契機に、高い情報発信力を有する一流のプロフェッショナルとのタイアップにより、魅力ある米粉製品や米粉レシピの開発、有名レストランでの「おかやま有機」を使った料理の提供、百貨店で販売できる農産加工品の開発を進めることで、新段階の「地産地消」へとレベルアップを目指す。

<実施計画>

1 米粉の消費拡大

米粉を小麦粉の代替製品でなく、新たな魅力を持った食材と位置づけ、新たな消費の局面を開拓することは、貴重な水田資源を守ることにもつながる。

このため、米粉製造メーカーと地元パティシエが連携し、米粉を使ったスイーツフェアを開催する。

また、首都圏の著名パティシエや料理研究家とのタイアップにより、新たな米粉料理の開発と普及を進める。

- (1) 協カスイーツ店の掘り起しとネットワーク化
- (2) 料理研究家との連携推進
- (3) スイーツフェアの開催
- (4) 米粉料理教室の開催、レシピの作成・配布

2 「おかやま有機」等の消費拡大

「おかやま有機」は高い「安全・安心」な基準で生産されているにも関わらず、産地規模が小さいことから、一般の市場に出回りにくく、その価値が十分消費者に浸透しているとは言い難い。

一方、高い安全基準で栽培される「おかやま有機」に注目するレストランシェフやパティシエ、大都市圏の消費者も現れ始めており、さらに、こうした生産・消費双方のニーズをビジネスチャンスと捉え、新たな物流事業に取り組む者もある。

これらによる協働を進め、「おかやま有機」を頂点とする、生産者の「こだわり」によって生産された農産物を使った料理を提供するレストランの拡大やスイーツの開発を進めるとともに、大都市圏の消費者を対象とした料理教室や直売システムづくりを進める。

- (1) 産地訪問を希望するシェフ、パティシエ、料理研究家等のリスト作成
- (2) 生産者、流通事業者による、産地見学の開催と希望シェフ等の参加
- (3) 物流テストの実施によるサンプル提供
- (4) 有機農産物を使った料理教室の開催
- (5) スイーツ店、レストランでの試作
- (6) 継続的に商品・料理の提供を行うスイーツ店・レストランのPR

Next Step

新段階へ!地産地消推進事業

期待される成果



米粉製造メーカー



ボンム・パール (倉敷市)



ル・ソレイユ (倉敷市)

アルバ (倉敷市)

米粉に興味を持つスイーツ店

米粉スイーツの開発・販売



ベルジェ (浅口市)



柿沢安耶
パティスリー・ポタジエ
オーナーパティシエ: 東京都



著名パティシエ



料理研究家

米粉ならではの
特徴を生かした料理
の開発・普及

米粉

プロポスタ、みつば、モネットのオープン、達磨亭、瀬戸山荘トリオ倶楽部、アルバーチョ、ポルポビス、ブルミエ (岡山市、倉敷市)



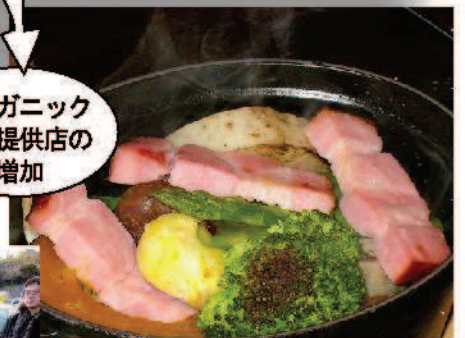
おかやま有機生産者



食材にこだわるレストラングループ

オーガニック

オーガニック料理提供店の増加



一流レストランでの
おかやま有機無農薬農産物
を使った料理の提供



著名シェフによる
オーガニック産地
訪問を企画・実施

アル・ケッチャーノ
オーナーシェフ奥田政行さんの
高梁市の有機無農薬生産集団訪問

○ 備中の地域文化の奨励

事業名 強みを活かした備中地域の観光振興事業<地域活力創出事業>

<概要>

備中地域の観光資源には、

- ①倉敷美観地区、吹屋等の個性豊かな「まちなみ」
- ②笠岡ラーメン、鴨方手延べそうめん・うどん、千屋牛ラーメンなどの「麺」
- ③技術集団として全国に名を馳せた備中杜氏が醸し出す「備中の酒」

といった観光の「強み」がある。

これらの「強み三素材」を活かした広域観光ルートを設定することにより備中地域の観光の魅力をさらに向上させ、大型商業施設への買い物客等を備中地域の観光スポットへ誘導する施策を実施する。

<実施計画>

23年度は、パンフレット配布やポスターの掲出、新聞・テレビ・ラジオ等の活用などにより、強み三素材の情報発信を積極的に行ったところ、関係者から管内観光地で大型商業施設の買い物客が散見されるなどの情報を得ており、一定の効果があつたと思われる。ただ、微増といった報告にとどまっており、さらに多くの買い物客を誘導していく必要があるといった課題も明らかとなった。

上記の実績と課題を踏まえ、今後は、管内の観光地を周遊し、宿泊につながるような具体的な施策を、市町・観光関係団体と連携しながら実施する。

また、「まちなみ」については、25年秋に倉敷市他で開催される「全国まちなみゼミ」をふまえて、まちなみ保存団体に対する「まちなみ」の魅力をより高めるための活動（コンセプトの統一、地域の祭事の復活等）への支援とネットワークの強化を図る。

- 1 大型商業施設と備中地域の観光スポットを繋ぐスタンプラリー等の実施
- 2 大型商業施設のイベントステージを活用して管内関係団体による備中地域の観光展の開催
- 3 中四国各県の旅行エージェント・マスコミに対する観光キャラバンの実施
- 4 備中地域の観光情報を紹介するHPと大型商業施設のHPとの相互リンク（PC用、スマートフォン用）

「強み」を生かした備中地域の観光振興事業

現状

- ・「美観地区」「吹屋」など個性的な「まちなみ」が点在
- ・多様な麺文化がご当地グルメとして管内各地に存在
- ・「備中杜氏」という技術に支えられた「酒どころ」として有名

倉敷美観地区



吉備路(古墳群)

あるく

「まちなみ」

- ・吹屋
- ・石火矢町武家屋敷
- ・矢掛本陣
- ・旧鴨方往来
など



食す

「麺」

- ・笠岡ラーメン
- ・鴨方手延べ麺
- ・高粱イゲイツ焼きそば
- ・玉島しのうどん
- ・草間の和そば
など



「日本酒」

- 備中杜氏の郷
- ・喜平
- ・大典白菊
- ・三光
など



たしなむ

備中の

あ・し・た

を支える

「強み三素材」

として売り出す！

具体的には・・・

「強み三素材」をテーマにした観光情報誌の作成
「首都圏発のツアーを実施」
まちなみ保存活動団体への支援

目的は・・・

アウトレットモール客の備中地域への誘導
備後地区との連携による圏域を超えた広域観光の模索

相互に連携した
周遊性の向上

観光客増による活性化

○未来に引き継ぐ環境の創造

<事業名>こども環境学習体験プログラム

<事業概要>

地球温暖化の防止、循環型社会の形成、自然環境の保全等、環境問題の解決に向けては、多様な主体との協働と併せて、継続的な取組が必要不可欠であることから、親子での参加を対象とした体験型の各種事業を協働し、「健全で恵み豊かな環境の次世代への継承」を図っていく。

<実施計画>

1 子ども環境学習体験ツアー

管内南部地域の小学生及びその保護者を対象とした事業を実施する。

(1) 森とふれあい体験ツアー

○山間部または森林公園等を会場

- ・山林の下刈り体験や自然観察の実施
- ・自ら採取した木の実や間伐材を使った木工体験

→ 森林の成り立ちや、地球環境における役割、現状について学習する。

(2) 高梁川源流ハイク

○高梁川をさかのぼり、源流域を訪れる

- ・高梁川流域の生き物や自然観察の実施

→ 生物多様性の状況や、森林と河川と海の関係について学習する。

2 びっちゅう環境フェア(環境セミナー)

6月の「環境月間」にあわせて、親子をメインターゲットとした各種の体験型ブースやワークショップ等を揃えたフェアを開催する。

- ・日 時 6月9日(土) 10:00～
- ・場 所 三井アウトレットパーク倉敷
- ・内 容

- ①ステージイベント……環境クイズ、キャラクターショー 等
- ②ワークショップ……マイはしづくり、牛乳パック工作 等
- ③体験ブース……自転車発電、太陽光クッキング 等
- ④パネル展示……エコライフ、マイバッグ運動推進 等

こども環境学習体験ツアー

地域の子ども達を対象として、環境学習や体験学習の機会を提供することにより、地球環境や自然環境の価値を再認識し、環境問題を自分のこととして捉え、積極的・主体的に解決行動ができる次世代の人材を育てる。

1 森とふれあい体験ツアー



初級編

○ 身近な自然とふれあうエコツアー

＜対象者 小学校4～6年生＞

- ・ 高梁美しい森を訪れる。
- ・ 森を歩き、自然観察をし、生き物に触れる。
- ・ 林業体験をつうじて森の現状や人との共存関係を知る。

【小学校、環境団体等と協働】

2 野生にもどる

～高梁川源流体験ハイク～



中級編

○ 循環する自然を感じるエコツアー

＜対象者 小学校6年生～中学生＋保護者＞

- ・ 高梁川111kmの始まり、母なる源流を訪れる。
- ・ 森から里、海に通じる川の流れを生み出す源流を体験する。
- ・ 森林の役割、生物多様性を実感する。

【環境団体、地元住民等と協働】

体験する
知る



環境保全意識の高揚
環境問題への関心喚起

事業名 GREENDAY2012<提案募集採択事業>

<概要>

実施団体：GREENDAY2012実行委員会

2011年に実施した「GERRNDAY2011」では、管内6会場で環境保全をテーマとしたシンポジウムの開催、また各会場の運営に際し、岡山県立大学、吉備国際大学等の参加による産官学協働などの実績を得た一方で、各世代を通じて参加できるプログラムへの配慮や、水島地域の企業が参加できるプログラムの不足などの課題が残った。

この反省を踏まえ、2012年は、地域、世代ごとに「学び」の場と機会を提供するため環境保全をテーマとした18講座を開催し、人材の育成や地域課題の解決を目的とした事業を展開する。

<実施計画>

「GREENDAY COLLEGE」講座の開催

	地域	内容等	対象	募集人数
6月	高梁市	美しい森「草刈り体験」	6歳以上	20
7月	新見市	哲西「鯉が窪湿原観察」	6歳以上	20
8月	新見市	草間「そばとカルスト台地」	6歳以上	40
9月	新見市	神郷の森「森林間伐作業体験」	18歳以上	20
9月	高梁市	宇治町「ワシ・タカ観察会」	6歳以上	30
9月	倉敷市	中心市街地「旧街道散策と開発計画」	18歳以上	20
10月	笠岡市	白石島「シーカヤック体験」	12歳以上	20
11月	高梁市	臥牛山「エコハイキング」	12歳以上	30
12月	倉敷市	水島「三菱自動車工場見学」等	6歳以上	30
12月	倉敷市	水島「水島の歴史と公害」	12歳以上	30

など、各地域の特色を活かした講座を開催する。

○ メインプログラム

時期：12月開催予定

場所：水島環境スクエア

内容：講演「企業と世代をつなぐ持続的環境教育」とワークショップの開催

<事業名> 草間台地の優れた自然環境や多様な生物をテーマとした環境学習
・エコツアー<提案募集採択事業>

<概要>

実施団体：草間台エコミュージアム推進協議会

旧草間中学校校舎を「草間台エコミュージアムセンター」として整備が終了したところであり、このセンターを活用して、自然・歴史遺産・文化・産業などの貴重な資源を紹介する各種事業を展開する。

本事業では、草間の特色ある自然の再認識、新発見できる環境学習・エコツアーを行う。

<実施計画>

県南城から草間台地まで、下記のメニューを実施するバスツアーを企画し、草間の自然の魅力を発信するとともに、都市住民との交流を図る。

1 ウスイロヒョウモンモドキについての勉強会等の実施

- ① ウスイロヒョウモンモドキについて学習会を実施する。
- ② ウスイロヒョウモンモドキの観察会を行う。
→ あわせて鍾乳洞見学も実施する。
- ③ ウスイロヒョウモンモドキの保護活動(茅刈り)を行う。
→ あわせてソバ道場の見学も実施する。

2 ホタルについての勉強会、観察会の実施

- ① ホタルの生態についての学習と観察会を実施する。
→ あわせて山野草見学も実施する。

3 羅生門及び周辺の「コケ」についての勉強会の実施

- ① 鍾乳洞「羅生門」及びその周辺に自生する「コケ」について、鍾乳洞との関係の学習と観察会を実施する。
→ あわせて果樹園見学を加える。

※ それぞれのツアーについて、実施時期や募集定員の決定と併せ、県南の企業等についても参加を要請する。